

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市民	快適な交通道路
現状・課題	集落内の生活道路の整備により、すれ違いができるようになる。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	市道の整備を図る
事務事業概要	集落内における狭隘な生活道路の拡幅改良、舗装等の整備を図る。	
令和３年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	市道片塩15号線	道路改良工事 L=20m
	市道間山18号線	道路改良工事 L=20m
	市道東吉田２号線	詳細測量業務 一式

事務事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	17,400,000	14,400,000	15,880,000
		補正・流用等	円			－
		合計	円	17,400,000	14,400,000	15,880,000
	決算（見込）額 A		円	17,192,362	14,400,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
	R2は予算額	一般財源	円	17,192,362	14,400,000	15,880,000
	正規職員数		人	0.93	1.07	1.07
	人件費 B		円	5,991,060	6,922,900	9,443,820
総事業費 A＋B		円	23,183,422	21,322,900	25,323,820	
市民 1 人当たりコスト		円	545	503	601	

成果指標	アウトカム	方向		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
道路改良率		累計	目標	46.0	%	46.0	%	46.0	%
			成果	45.7	%	45.6	%	—	
道路舗装率		累計	目標	80.0	%	80.0	%	80.0	%
			成果	79.1	%	79.2	%	—	
成果指標と目標値を設定した理由		安全で快適な道路交通の確保を図るため。							

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	地域住民の生活道路における利便性の向上を図る。						

事務事業名	生活道路整備事業	部・局	建設水道部
		課・室	道路河川課
		係	土木係

[illegible]